

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「合言葉の力」

前号（No.172）で、「インフルエンザ対策の合言葉」として、う（うがい）・ま（ますく）・く（くうきの入れ替え）・き（きそく正しい生活）・た（たい力をつける）・え（えいようをとる）・て（てあらい）を紹介しました。今号では、更に合言葉を掘り下げてみます。

1 合言葉の力（効果）

- （1）目標や主張を分かりやすく端的に言葉で伝えられる。
- （2）一つの行動を素早く理解し、実行しやすくなる。
- （3）同じ目標をもつ仲間であるという意識が生まれ、連帯感が深まる。



2 合言葉の例

（1）避難訓練の合言葉

- ・「おすし」・・・「思いやりをもって・素早く・静かに」
- ・「おはしも」・・・「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」
- ・「おかしも」・・・「押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない」
- ・「おかしもち」・・・「押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない・近づかない」
- ・「おはしもて」・・・「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない・低学年優先」

（2）挨拶の合言葉

- ・「あいさつ」・・・「明るく・いつも・さわやかに・続けて」
- ・「あいさつ」・・・「明るく・いつでも誰にでも・先に進んで・続けて」

（3）授業で使える合言葉

- ・道徳の振り返り「まいこ」・・・「学んだこと・今までの自分・これからどうしていきたいか」
- ・算数の比較「はかせ」・・・「速く・簡単に・正確に」
- ・資料の読み取り「わきお君」・・・「分かったこと・気付いたこと・思ったこと」

（4）教師の力量を高める合言葉

- ・「おいあくま」・・・怒るな・威張るな・焦るな・腐るな・負けるな

（5）その他

- ・幸せの「はひふへほ」・・・半分でいい・人並みでいい・普通でいい・平凡でいい・程々でいい

子どもに言葉で長く説明するよりも、短い合言葉で伝えることで、活動へのモチベーションをアップさせることができます。合言葉を唱えることで、同じゴールに向かって仲間と助け合ったり、励まし合ったりする一体感が生まれ、1+1が2ではなく、5にも10にもなります。

私は宿泊学習を担当したときは、みんなで楽しく自然体験を満喫できるように、合言葉「自然に飛び込め」をジェスチャーを交えて繰り返し行いました。また、我が子がある部活動に所属していたときは、親の会が一丸となって応援できるように、合言葉「勝利を信じて、心は一つ」を試合前に唱えていました。その合言葉の力で、全国優勝することができました!? 合言葉は、子どもたちを奮い立たせる力があります。

「3学期も頑張るぞ、エイエイ、オー！」



とれたて直送便



「子どもが自ら答えを見付ける」

①聞いたことは忘れる、②見たことは覚えている、③やったことは分かる、身に付く、④見付けたことは使う。人は自分で答えを見付けたときに気付きの喜びに満たされる。その喜びをエネルギーに行動変容の第一歩を踏み出す。同じ答えであっても、自分で見付けるのと他人から教えられるのでは天地の差がある。子どもが自ら「見付ける」働き掛けをしたい。